



令和7年9月定例会が9月11日から始まっています。物価高騰が続く中、賃金アップもしていかなければならないという大変厳しい状況にある中小企業を支援するための事業費など、約30億円の補正予算案が10月1日に議決されました。この後は決算特別委員会で令和6年度の決算審査が行われ、10月31日に閉会します。

先の参議院議員選挙では自民党が大敗しました。これは、物価高騰で厳しい生活を余儀なくされている方々の声であるとともに、これまで政府を信じてまじめに働き、まじめに納税してきてくださった方々が、このままでは自分たちが報われない、という思いを投票行動で示された結果ではないかと思っています。政治は弱い立場の方々に目を向けることはもちろんですが、まじめに義務を果たしてくださっている大勢の方々に納得いただけるものでなければ国を維持存続できないと考えます。昨今報道等で取り上げられている移民問題はそういった方々の不安要因の一つとなっています。しかし、日本を愛し、日本の文化を尊重し、働き、納税している外国人は大勢おられます。物事を一括りにせず、問題の本質はどこなのかを見極めて、様々な角度から緻密な対策をとることが、ルールを守り責任を果たす方々の権利と自由を守り、日本の未来を守っていくものではないかと考えます。そういった視点で今後の活動にも邁進して参りたいと思います。これからも皆様のご支援とご指導ご鞭撻を、どうぞよろしくお願いいたします。 京都府議会議員 藤山ゆきこ



9月定例会 一般質問いたしました

※抜粋のため詳細はこちら →



1 高齢者の居場所づくりについて

- ① 高齢者の孤立を防ぐ取組の中での課題についての認識は。 ② 地域における高齢者のこれからの役割についての考えは。

答弁

- ① 現役世代と比べて社会との接点が少なく孤立しやすい環境にあることや、そのことで身体機能や認知機能が低下し、健康問題を引き起こす可能性があることから、孤立への対応は大変重要であると認識している。孤立を未然に防ぐためには、身近な地域で人とのつながりを築ける居場所づくりを進めていく必要があると考えている。しかし、高齢化の進展により「通いの場」の運営を担える人材の不足や、多様な「通いの場」を開設するためのノウハウがないことなどが課題となっている。市町村や関係機関と連携し、各地域において「通いの場」の運営に携わるリーダーの養成や、多様な「通いの場」のノウハウを伝えるためのアドバイザー派遣や研修会の開催などにより、「通いの場」の設置と高齢者の参加の促進を図っている。高齢者が人とのつながりを持ちながら、安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていきたい。
- ② ボランティアなど様々な地域の活動を通じて、社会の中で役割を持つことは、生きがいにつながり心身の健康維持を図る上でも大切だと考えている。京都SKYセンターに「シニアボランティアバンク」を設置し、希望やスキルに応じて、子ども食堂の支援や運転ボランティアなど、様々な活動分野とのマッチングを実施し、経験や能力を活かして活動できるきっかけづくりを進めている。また、老人クラブでのボランティア活動(子ども見守りパトロールや美化活動など)を広く知っていただき、参加しやすい環境づくりにも取り組んでいきたい。

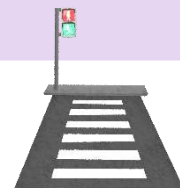


2 すべての人にやさしい交通環境の整備について

- ① 通学路や未就学児の移動経路については点検や危険箇所の対応をしているが、移動経路ではない道路における危険箇所の把握及び対応の現状は。
② 以前から危険が指摘されている変則交差点(府道八幡宇治線と宇治市道の交差点)の一日も早い対応が望まれる中、今後の進め方は。

答弁

- ① 道路パトロールなどの管理業務で危険箇所を把握しているほか、道路管理者や警察、学識経験者などで構成する会議において、交通事故データや走行速度、急ブレーキ発生箇所などのビックデータをもとに、危険箇所を把握している。「府民協働型インフラ保全事業」においても、危険箇所の把握に繋がる提案を府民からいただいている。対策として、歩道整備や交差点改良などの抜本的な対策、区画線の設置や側溝の蓋かけによる歩行空間の確保などの即効性のある対策、交通規制と速度抑制のために道路の一部を盛り上げるハンプなどの物理的デバイスを組み合わせた面的な対策、歩道の段差解消などのバリアフリー対策など、現場に応じた対策を選択して実施している。引き続き、危険箇所を的確に把握し、安心・安全な道路空間の整備に取り組んでいく。
- ② 2つの丁字交差点が近接する複雑な形状であることに加え、商業施設が近く歩行者が多いにも関わらず、歩行空間が未整備である区間があり、歩行者の安全確保に課題を抱える交差点となっている。府道と並行する河川(井川)改修に併せて歩行空間の確保も検討したいと考えているが、まずは歩行者の安全を最優先に、限られた道路用地内で即効性の高い対策を実施したいと考えている。近接する二つの丁字交差点の交通安全施設の整備を見直すことで、歩道の未整備区間を通らずに安全に府道を横断できるようにしたいと考えている。そのため、信号機の増設、横断歩道の設置場所の見直しや、歩車道境界ブロックの再配置など、警察と連携して交通安全対策の検討を進めている。早期に歩行者の安全確保のための工事に着手できるよう、取り組んでいきたい。



3 高校の授業料支援の拡充に伴う、今後の府立高校の魅力化に向けた取組への影響について

- ① 「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」策定時には想定されていなかった今回の高校無償化の動きに伴う、保護者や生徒のニーズの変化による基本計画の推進への影響とその対応は。
② 課題となる老朽化対策のため、新たな国の交付金に期待をするが、選ばれる府立高校づくりに向けて、どのように取り組んでいくのか。

答弁

- ① 高校無償化により、私学志向が強まることが想定される中にあっては、府立高校の真価が問われているものと考えており、学校だけに閉ざされてきた教育内容を見直し、それを支える教育環境の充実に、これまで以上の危機感とスピード感をもって取り組む必要がある。これからの人口減少社会を担う人材を育成するという視点が重要で、自ら進んで発展に貢献しようとする「シビックプライド」を備えた「人づくり」こそが、府立高校の最大の使命と考えている。公立高校のスケールメリットを活かし、学校の枠を超えて生徒同士が切磋琢磨し、互いに高め合う学びを進めることで、「京都ならではの人づくり」に努めていく。
- ② 築50年を超える施設も多く、迅速な老朽化対策が必要であるとともに、体育館の空調設備の導入やトイレの洋式化などの充実した教育環境の整備に向け、早急な対応が必要と考えている。さらに、より深みのある探究活動に取り組むために、高性能なデジタル機器を備えた「探究ルーム」、海外の高校生と連携した学びを進めるためにオンラインでクラス単位のディスカッションができる「交流ルーム」を設置するなど、「学びの改革」に合わせて、施設・設備整備基本構想を迅速かつ着実に具体化していく。国に対して新たな国庫補助制度の創設や制度の拡充などを積極的に提案していきたい。今後、産官学民との連携をさらに進め、府立高校だからこそできる、これからの京都、日本の未来を支える人材育成に全力で取り組んでいく。

1 高温・渇水から農業を守る取組

・ 渇水緊急対策事業費 5,000 万円

- ・ 農業水利施設管理者が行う用水対策に要する経費を支援
(対象経費) ポンプの調達・設置費、燃料代 等
- ・ 農業用水が不足する地域に対し、給水車による給水活動の実施
- ・ 水稻生産者が行う農業用揚水ポンプの導入等に要する経費を支援

・ 農産物生産確保対策事業費 9,000 万円

- ・ 高温・渇水の被害を受けた水田の生産回復に要する経費を支援
(対象経費) 土壌改良資材の購入費
- ・ 高温耐性品種への転換の取組を実施
- ・ 高温対策や品質向上に繋がる設備導入への支援
(対象経費) スプリンクラー、色彩選別機 等



2 中小企業者の事業活動を守る取組

・ 経営基盤強化推進事業費 2 億 8,000 万円

経費削減効果のある設備投資等に要する経費を支援
(取組例) 機器・設備の導入、経営コンサルティング、人材育成 等
(補助要件) 京都府最低賃金の引き上げ額以上の事業場内最低賃金の引き上げを行うこと

・ 建設業人材確保対策支援事業費 1 億 2,000 万円

建設業者や測量業者が行う生産性向上や労働者の処遇改善につながる取組を支援
(取組例) ICT 建設機械・測量機器、ドローンの導入 等

3 高校無償化への対応

・ 高校生等修学支援事業費 21 億 8,300 万円

- ・ 高校生等臨時支援金
(現 状) 年収 910 万円未満世帯の高校生等を対象に、上限 11.88 万円を授業料相当の教育費として支給
(拡充内容) 所得制限の撤廃 (年収 910 万円以上の世帯も支給対象に)
- ・ 奨学のための給付金
(現 状) 国公立の高校等に通う住民税非課税世帯の高校生等について第 1 子と第 2 子以降で給付金の額が異なる
(拡充内容) 第 1 子に係る給付金単価を第 2 子以降と同額に増額
(年 131,500 円 → 年 143,700 円 (+12,200 円))

4 その他の施策

- ・ ツキノワグマ被害防止総合対策事業費 1,200 万円
- ・ 歴史的建造物等保存伝承事業費 9,900 万円

※ 内容は抜粋のため、詳細はこちらからご覧ください →



京都府議会の“いま”をお知らせ中。フォローをお願いします



X



YouTube



f

【小規模事業者持続化補助金 (通常枠)】

自ら経営計画を策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら取り組む販路開拓等を支援

商工会地区

【申請受付】 電子申請



【受付開始】 令和 7 年 10 月 3 日(金)

【受付締切】 令和 7 年 11 月 28 日(金) 17:00



【補助率 (補助上限)】 原則 3 分の 2 以内 (原則 50 万円)

【対象経費】 機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、旅費
展示会等出展費、新商品開発費、借料、委託・外注費

【小規模事業者の範囲】 (常時使用する従業員数)

商業・サービス業 → 5 人以下

製造業・それ以外の業種 → 20 人以下



【令和7年度 地域交響プロジェクト交付金 追加募集】

地域住民が主体的に参画、地域課題の解決に取り組む非営利団体を応援
(例: 町内会、老人クラブ、子ども会、ボランティアサークル、NPO 法人 等)

【申請期間】 令和 7 年 10 月 1 日(水)~10 月 31 日(金) 当日消印有効

【対象事業】 令和 7 年 10 月 1 日(水)~令和 8 年 3 月 31 日(火) の間に実施される事業



【交付率 (交付上限)】 ※京都府内の事業が対象

京都市内 3 分の 1 以内 (100 万円) 市外 3 分の 2 以内 (200 万円)

【対象経費】 事業実施に要する経費 (会場費、講師謝金、広報費 等)

【申請手続】 主な活動地域の市役所・町村役場又は広域振興局に、郵送又は持参。(京都市内の場合は、京都府文化生活的総務課へ提出)

【ドナルド・マクドナルド・ハウス京都】
運営費ご寄附のお願い

病気と向き合う子どもに寄り添う家族のための滞在施設 (略称: 京都ハウス) の開設費用は、皆様の善意により、目標額を達成いたしました。
ありがとうございました。
昨今の物価高騰等の影響で建設費が想定よりも膨らむ可能性もあるため、引き続きよろしくお願いたします。



※ 補助金・交付金 等、本紙掲載のお知らせについては、中止や締切前に受付終了などもあるため、必ずホームページで詳細をご確認ください。

議員活動

委員会視察(高知・徳島 他)



学び多き時間
感謝いたします



委員会視察(東京・神奈川・埼玉)

府政報告会



委員会視察(富山)



「府民交流フェスタ」開催



【日時】 令和 7 年 11 月 3 日 (月祝) 午前 10 時~午後 4 時まで

【場所】 京都府立植物園 大芝生地ほか

当日入園無料 (温室も無料) ※駐車場は有料

- ★ WE ラブ赤ちゃん・ちびっこ運動会も開催!
親子で楽しめる競技を実施。飛び入り OK!
参加者にはお菓子の景品もあり。



- ★ WE ラブ赤ちゃんプロジェクト普及啓発ブースでは
ストラックアウトや輪投げなども実施。申込不要。
【対象年齢】 乳児、小学生のお子さん



京都府庁旧本館にて「観芸祭」開催



【日時】 令和 7 年 10 月 25 日(土)~11 月 3 日(月祝)

午前 10 時~午後 5 時 期間中イベント盛りだくさん!

